

共同生活援助（グループホーム）



グループホームでは新型コロナウイルス感染対策として外出を控えている為、室内で楽しめることを日々考えており、毎月1回おやつ作りを行っています。失敗する事もありますが、「また、リベンジしよう」など前向きな発言や、作りたいものを考えたりして楽しんで参加している様子がみられます。また、映画鑑賞なども取り入れています。今後、山登りやお楽しみ会などのレクを計画し、楽しみを増やして充実したグループホーム生活が送れるようサポートしていきます。

（担当／サービス管理責任者 入江）

看護師より

新型コロナウイルスは一般的に①飛沫感染②接触感染③エアロゾル感染で感染します。感染を予防するためには手洗い、うがいなどの基本的な感染予防の実施や不要不急の外出自粛、「3つの密」を避けることが重要です。自己のみならず、他人からの感染を回避するとともに他人に感染させないように徹底することが必要です。当事業所でも引き続き咳エチケットや手洗い等の感染予防対策の徹底を行っていきます。ご家庭におかれましても健康管理に十分気を付けて頂きますようお願い致します。

（担当／看護師 平田）

お知らせ・お願い

現在、館内各所のコロナウイルスの感染防止で、除菌を行う為に古布を使用しております。引き続き、ご家庭で不要となりました古着のシャツ、タオル類などがありましたら、お分け頂きたくご協力のほどよろしくお願い致します。

リバティゆい Times

第17号 令和3年(2021年) 5月発行

新年度のご挨拶

社会福祉法人 親交会
リバティ・サポートセンターゆい
〒318-0034 高萩市高萩 45-1
TEL:0293-23-6890
FAX:0293-23-6897
E-mail:yui@liberty-w.or.jp

リバティ・サポートセンターゆい
センター長 井坂 正子

日頃より、当事業所をご利用いただき感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染対策にご協力を頂きありがとうございます。おかげさまで体調不良者は発生していない状況です。

新年度より、開所日や営業時間などを一部のサービスで変更し新体制で運営しておりますが更なるサービス向上のため職員一同新たな気持ちで支援に取り組んで参ります。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でしたが現在も気が抜けない状況が続いております。コロナ渦ではありますが、利用者の皆様方に楽しんで通所して頂けるように知恵を絞って色々なレクや創作活動を提供して行きたいと考えております。また、家庭で過ごす時間が長くなっていますが家族で過ごす時間が一番安らげる時間だと思います。どうか家族との時間を大切にしてください。

本年度も利用者様の笑顔にために職員一同心を込めて支援をさせて頂きますのでご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

新年度のご挨拶

今年は桜の開花も早咲きでゆいのお花見会では桜吹雪が舞っていました。さて、当事業所では、新しい利用者様が5名入り、ますます賑やかなゆいとなりました。昨年度は、コロナ禍の中で不安で仕事も私生活もすべてが新型コロナウイルスに翻弄された1年でしたが、そのような状況下、当事業所ではできる限りに日常を継続できるように、利用者様、保護者様、職員他関係者が感染防止に努めていただき感染者、濃厚接触者なく無事に過ごせた1年間でした。ご協力の程、ありがとうございました。今後もコロナ対策の「不要不急の外出自粛」「マスクの着用」「咳エチケット」「換気」「手洗い」などの取り組みに利用者様も意識し、定着してきたことを継続していきたいと思います。また、新たに変異型がでてきており不安になりますが、これから自分たちが歩むべき道を再度しっかりと個々の足元を見つめ直し、新たな一步を踏みだして前進していきたいと思います。最後になりますが、制限がある生活のなかで利用者様が有意義に過ごせることを第一に考え、日々支援をしていきたいと思います。今年度もご協力のほどよろしくお願ひいたします。

サービス管理責任者 加藤 裕子

【利用者様及びご家族様へのお願い】

新年度に入り、変異ウイルスを含め、コロナウイルス感染者が再度高萩市内及び近隣地域に急増しております。誰がいつコロナウイルスに感染してもおかしくない状況です。利用者様が今まで通り通所できるよう当事業所も万全を尽くしますが、利用者様及びご家族の皆様におかれましてはコロナウイルス感染を防止する基本の徹底（三密の回避、手洗い、マスク着用、アルコール消毒、不要不急の外出など）を引き続き実施して頂きますようご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

活動の様子

就労継続支援B型



就労継続支援B型は21名で活動をしています。作業としては取引会社の取説組合せ作業を行っています。また4月より農作業を始めました。ゆい敷地内の畑だけではなく、島名にある畑で作業に取組んでいます。島名の畑では土を耕すところから始め、雑草を抜き、種をまき、よりよい作物になるように日々一丸となって畑作業に取り組んでいます。農業を通じて、作物を育てる楽しさ・やりがい、食べ物の大切さや食べる喜び、また販売して利益を得る難しさなどを学んでいただく機会にもなると思います。ゆいでんの作業や体力づくり等を行う中で、利用者様一人ひとりが各目標に向けて進んでいただけるように、日々寄り添いながらサポートをしていきます。

(担当／生活支援員 馬渕)

自立訓練（生活訓練）



自立訓練は4月から4名加わり、5名での活動となりました。個々の能力にあわせたプログラムでは生活に必要な歯磨き、洗濯、掃除など生活していく上で必要なことを身に付けていくように支援していきたいと思います。その他に運動、ストレッチなど身体を動かすことや字を書くこと、計算問題など学習を取り入れて個々の能力向上を目指します。また、利用者様の好きなことを取り入れて通所生活が楽しくなるように様々な活動を行いたいと考えています。これからもメリハリのある生活が送れるように利用者様とコミュニケーションをとりながら一緒に活動していきます。

(担当／生活支援員 鈴木)

生活介護



生活介護は4月から新規利用者様が増え、最多10名での活動になりました。全体での活動も行い、個々の特性に合わせた活動をより多く取り入れていこうと思います。昨年度から新たに取り入れた運動で歩行能力や跳ぶなどの身体機能の向上が見られます。良い状態を更に伸ばし、苦手な部分は個々の能力に合わせた活動で向上できるよう支援致します。利用者様が日常生活で苦手意識があることを引き続き支援していきます。

(担当／生活支援員 柴田)

放課後等デイサービス



放課後等デイサービスは、身体を動かす活動を中心に行っています。新型コロナウイルス感染対策として屋外活動の際は人が集まらない場所選び、室内活動でも密にならないよう、ソーシャルディスタンスの声掛けを行っております。また、手洗い、うがい、消毒を徹底して行っております。月1回行っている書道やお茶会も定着してきており、書道では好きな字を、自由な書き方で書くことにより、自己表現の場として活用しています。今後も保護者様と連携しながら、様々な経験ができるような活動を考え、1人ひとりに合った活動、寄り添った支援をしていきたいと思います。

(担当／生活支援員 川原吹)